

## 子ども・子育て支援に関するニーズ調査（案）

## 【調査ご協力のお願い】

就学前のお子さんの保護者の皆さまへ

皆さまには、日頃より市政に対しご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、本市では、令和2年度に策定した「第2期半田市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て家庭や子どもの成長を支援する様々なサービスを実施してまいりましたが、令和6年度に計画期間が終了することに伴い、次期計画の策定を進めております。

次期計画策定にあたり、子育て支援に関する施設やサービスについて、市民の皆さまの「現状の利用状況」や「今後の利用希望」を把握する必要があり、このたび「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」を行うことといたしました。

つきましては、ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、回答にご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、この調査は、小学校就学前までのお子さんがある世帯から対象者を無作為に抽出し、協力をお願いするものです。回答された調査内容は、子ども・子育て支援施策の検討にのみ利用させていただき、他の目的には一切利用することはありませんので、ありのままの状況をご回答いただくとともに、ご忌憚のない、ご意見をご記入いただきますようお願い申し上げます。

令和5年11月

半田市長 久世 孝宏

この調査は、幼児教育・保育・子育て支援サービスの「量の見込み」を子ども・子育て支援事業計画に反映させるため、「現状の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。なお、子ども・子育て支援制度は、次の考え方に基づいています。

- 急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 乳児期における情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれるよう、社会全体の責任として、環境を整備します。
- 保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育ての責任を果たすことや、子育ての権利を享受するための支援を行います。  
そのため、地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を進めます。



## ご記入にあたっての注意事項

- 1 記入は、鉛筆か黒または青のボールペンでお願いします。
- 2 子どもに関する質問は、宛名のお子さんについて回答してください。
- 3 ニーズ調査票には、お子さんの保護者の方がご記入してください。
- 4 回答は、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。  
なお、回答数は、設問ごとに（○は1つ）（○はいくつでも）と指定があります。
- 5 〔 〕内には、具体的な内容・□内には具体的な数字を書いてください。  
なお、時間については、24時間制（例：午後5時→17時）で記入してください。
- 6 設問や回答選択肢によっては、一定の条件の方にだけお答えいただくものがありますので、その説明や矢印に従い、または判断して最後まで記入してください。
- 7 記入済の調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**12月 日（ ）まで**に次のとおり提出してください。

《幼稚園・保育園等を通じて配布された方》 ⇒ 配布された園に提出

《郵便で受け取られた方》 ⇒ 郵便ポストへ投函（切手不要）

- 8 Webで回答することもできます。下記のURLまたは、QRコードから回答ページにアクセスください。なお、**Webで回答された方は紙の調査票の返信は不要**です。  
※回答にあたっては、別紙「Web回答する場合の注意点」をお読みください。

URL

QRコード

- 9 回答にあたっては、回答方法によらず一定の時間を要するため、時間に余裕をもってご回答ください。

質問の中に出てくる「施設」・「サービス」・「利用者負担額」の補足説明については、この調査票の35ページ以降に記載してありますので、ご参考にしてください。

不明な点、調査に関するお問い合わせは下記までお願いします。

半田市子ども未来部子ども育成課

電 話 0569-84-0658（ダイヤルイン）

E-mail kodomoikusei@city.handa.lg.jp

## お住まいの地域をお尋ねします。

問1 お住まいの地域の小学校区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。  
小学校区がわからない場合は、( ) 内に町名を記入してください。

- |           |                         |           |           |
|-----------|-------------------------|-----------|-----------|
| 1. 半田小学校  | 2. さくら小学校               | 3. 岩滑小学校  | 4. 雁宿小学校  |
| 5. 乙川小学校  | 6. 横川小学校                | 7. 乙川東小学校 | 8. 亀崎小学校  |
| 9. 有脇小学校  | 10. 成岩小学校               | 11. 宮池小学校 | 12. 板山小学校 |
| 13. 花園小学校 | 14. 小学校区がわからない場合 ( ) 町) |           |           |

## 封筒の宛名のお子さんをご家族の状況についてお尋ねします。

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。□内に数字でご記入ください。

平成・令和 □□年 □□月生まれ

問3 宛名のお子さんと同居されている方は誰ですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |            |       |          |       |       |
|------------|-------|----------|-------|-------|
| 1. 父親      | 2. 母親 | 3. きょうだい | 4. 祖父 | 5. 祖母 |
| 6. その他 ( ) |       |          |       |       |

問4 宛名のお子さんを含め、お子さんは何人ですか。また、末子の方の生年月月をご記入ください。

お子さんの人数 □人 末子の生年月月 平成・令和 □□年 □□月生まれ

問5 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのは、誰ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |            |         |         |          |
|------------|---------|---------|----------|
| 1. 父母がともに  | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 |
| 5. その他 ( ) |         |         |          |





問9 宛名のお子さんの子育て・教育をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1. いる/ある ⇒ 問9-1へ

2. いない/ない ⇒ 問10へ

⇒問9-1 問9で「1. いる/ある」に○をつけた方にお尋ねします。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、配偶者以外で気軽に相談できるのは、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |  |                      |
|--|----------------------|
| 1. 祖父母等の親族   | 2. 友人や知人             |
| 3. 近所の人  |                      |
| 4. 地域子育て支援拠点<br>(子育て支援センター「はんだっこ」、「ぴよぴよ」、「板山ふれあいセンター」、<br>「花・はな」、「たいようの家」、「KORO*KORO*はうす」) |                      |
| 5. 児童センター・児童館  | 6. 幼稚園や認定こども園・保育園の先生 |
| 7. 民生委員・児童委員   | 8. かかりつけの医師          |
| 9. 半田市の子育て相談関連担当（保健師、家庭児童相談員等）   |                      |
| 10. その他（【例】ベビーシッター、子育てサロン）   |                      |

問10 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればいいとお考えですか。ご自由にお書きください。

<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
--





問 12 問 11 の (1) または (2) で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している) に○をつけた方にお尋ねします。該当しない方は、問 14 へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム (週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労) への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等 (「フルタイム」以外) の就労を続けることを希望している
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム (週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労) への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等 (「フルタイム」以外) の就労を続けることを希望している
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問 13 問 11 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にお尋ねします。該当しない方は、問 14 へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ 1 つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
2. 1 年以上先、一番下の子どもが □ □ 歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい

《希望する就労体系》

ア. フルタイム (1 週間 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等 (ア. 以外)

→ 1 週当たり □ 日 1 日当たり □ □ 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
2. 1 年以上先、一番下の子どもが □ □ 歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい

《希望する就労体系》

ア. フルタイム (1 週間 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等 (ア. 以外)

→ 1 週当たり □ 日 1 日当たり □ □ 時間



## 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてお尋ねします。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的にご利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育園など、問 14-1 に示した事業が含まれます。

問 14 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」をご利用されていますか。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1. 利用している ⇒ 問 14-1 へ

2. 利用していない ⇒ 問 14-5 へ

⇒問 14-1 問 14 で「1. 利用している」に○をつけた方にお尋ねします。宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 公立の幼稚園（半田市立幼稚園）
2. 私立の幼稚園（長根幼稚園、つばさ幼稚園）
3. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
4. 公立の認可保育園（半田市立保育園）
5. 私立の認可保育園（半田同胞園保育園、のぞみが丘保育園、みらい保育園、あさひ保育園、にじいろ保育園花園）
6. 公立の認定こども園（岩滑こども園、板山こども園、亀崎幼稚園）
7. 私立の認定こども園（住吉こども園）
8. 小規模保育事業所（花・はなベビーハウス、おひさま保育園、わかば保育園、くれよん保育園）
9. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
10. その他の認可外の保育施設（企業主導型の保育事業を含む）
11. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
12. その他（ ）

⇒問 14-2 問 14 で「1. 利用している」に○をつけた方にお尋ねします。教育・保育事業を定期的に平日どれくらい利用していますか。また、希望の利用日数、利用時間帯等を□内に数字でご記入ください。

なお、時間は、24 時間制でお答えください。

### (1) 現在

1 週当たり □ 日      1 日当たり □ □ 時間（□ □ 時～□ □ 時）

### (2) 希望

1 週当たり □ 日      1 日当たり □ □ 時間（□ □ 時～□ □ 時）

⇒問 14-3 問 14 で「1. 利用している」に○をつけた方にお尋ねします。現在、利用している教育・保育事業の実施場所は、市内か市外かいずれかに○をつけてください。半田市以外の場合は、その市町名を（ ）内にご記入ください。

1. 半田市内                      2. 半田市以外の市町（                      ）

⇒問 14-4 問 14 で「1. 利用している」に○をつけた方にお尋ねします。教育・保育の事業を利用されている主な理由に当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している
3. 子育て（教育を含む）をしている方に就労予定がある/求職中である
4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て（教育を含む）をしている方に病気や障がいがある
6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である
7. その他（                      ）

⇒問 14-5 問 14 で「2. 利用していない」に○をつけた方にお尋ねします。利用していない理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、該当する□内には数字をご記入ください。

1. 利用する必要がない  
(子どもの母親か父親が就労していないためなど)
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため □ □ 歳くらいになったら利用しようと考えている
9. その他（                      ）







問 17 問 16 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。  
なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい

1 週当たり □ 回 もしくは 1 か月当たり □ □ 回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

1 週当たり □ 回 もしくは 1 か月当たり □ □ 回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない



問 18 下記の事業で知っている事業すべてに○をつけてください。  
 なお、各事業の説明は調査票の 35 ページ以降に記載してありますので、ご参照ください。

事 業 名
1. 保健センターで実施する乳幼児健診、育児に関する講座 2. 子育て支援センターで実施する育児や遊びに関する講座 3. 子育て支援センターで実施する相談      4. 教育相談 5. 子育て総合相談窓口（子育て相談課で実施する相談） 6. 発達支援相談「あゆみ」                      7. 子育てホットライン 8. 「はんだ子育て応援ハンドブック」 9. 子育て応援サイト「はんだっこネット」 10. 子育て支援室（「ぴよぴよ」、「かめちゃんルーム」など） 11. 保育園や幼稚園の園庭等の開放 12. 子育てサロン等

⇒問 18-1 問 18 の選択肢の事業でこれまでに利用したことがあるものを事業ごとにお答えください。また、利用したことのある事業が良くなかった場合には、その理由をご記入ください。

事 業 名	回	答
①保健センターで実施する乳幼児健診、育児に関する講座	はい →1. 良かった 3. 良くなかった (理由 ) いいえ	2. 普通
②子育て支援センターで実施する育児や遊びに関する講座	はい →1. 良かった 3. 良くなかった (理由 ) いいえ	2. 普通
③子育て支援センターで実施する相談	はい →1. 良かった 3. 良くなかった (理由 ) いいえ	2. 普通
④教育相談	はい →1. 良かった 3. 良くなかった (理由 ) いいえ	2. 普通
⑤子育て総合相談窓口 (子育て相談課で実施する相談)	はい →1. 良かった 3. 良くなかった (理由 ) いいえ	2. 普通

⑥発達支援相談「あゆみ」	はい →1.良かった 3.良くなかった (理由 ) いいえ	2.普通
⑦子育てホットライン	はい →1.良かった 3.良くなかった (理由 ) いいえ	2.普通
⑧はんだ子育て応援ハンドブック	はい →1.良かった 3.良くなかった (理由 ) いいえ	2.普通
⑨子育て応援サイト 「はんだっこネット」	はい →1.良かった 3.良くなかった (理由 ) いいえ	2.普通
⑩子育て支援室 (「ぴよぴよ」、「かめちゃんルーム」など)	はい →1.良かった 3.良くなかった (理由 ) いいえ	2.普通
⑪保育園や幼稚園の園庭等の開放	はい →1.良かった 3.良くなかった (理由 ) いいえ	2.普通
⑫子育てサロン等	はい →1.良かった 3.良くなかった (理由 ) いいえ	2.普通

⇒問 18-2 問 18 の選択肢の事業で今後、利用したいと思うものを事業ごとにお答えください。  
「いいえ」と回答された方は、その理由をお答えください。

事業名	回答
①保健センターで実施する乳幼児健診、育児に関する講座	はい いいえ ⇒ 理由 ( ) わからない
②子育て支援センターで実施する育児や遊びに関する講座	はい いいえ ⇒ 理由 ( ) わからない

③子育て支援センターで 実施する相談	はい いいえ ⇒ 理由 ( ) わからない
④教育相談	はい いいえ ⇒ 理由 ( ) わからない
⑤子育て総合相談窓口 (子育て相談課で実施する相談)	はい いいえ ⇒ 理由 ( ) わからない
⑥発達支援相談「あゆみ」	はい いいえ ⇒ 理由 ( ) わからない
⑦子育てホットライン	はい いいえ ⇒ 理由 ( ) わからない
⑧はんだ子育て応援ハンドブック	はい いいえ ⇒ 理由 ( ) わからない
⑨子育て応援サイト 「はんだっこネット」	はい いいえ ⇒ 理由 ( ) わからない
⑩子育て支援室 (「ぴよぴよ」、「かめちゃんルー ム」など)	はい いいえ ⇒ 理由 ( ) わからない
⑪保育園や幼稚園の園庭等の開放	はい いいえ ⇒ 理由 ( ) わからない
⑫子育てサロン等	はい いいえ ⇒ 理由 ( ) わからない



## 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてお尋ねします。

問 19 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、24 時間制で□内に数字でご記入ください。これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指し、親族・知人による預かりは含みません。

### (1) 土曜日

1. 利用する必要はない	} →	利用したい時間帯	
2. ほぼ毎週利用したい		□ □	時から □ □
3. 月に 1~2 回は利用したい		□ □	時まで

### (2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない	} →	利用したい時間帯	
2. ほぼ毎週（毎回）利用したい		□ □	時から □ □
3. 月に 1~2 回は利用したい		□ □	時まで

⇒問 19-1 問 19 の (1) もしくは (2) で、「3. 月に 1~2 回は利用したい」に○をつけた方にお尋ねします。毎週ではなく、たまに利用したい理由すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため	2. 親族の介護や手伝いが必要なため
3. 息抜きのため	
4. その他 ( )	

問 20 「幼稚園・こども園（短時間）」を利用されている方にお尋ねします。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、24 時間制で□内に数字でご記入ください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指し、親族・知人による預かりは含みません。

1. 利用する必要はない	} → 利用したい時間帯	
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい		□ □ 時から □ □ 時まで
3. 休みの期間中、週に数日利用したい		

⇒問 20-1 問 20 で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にお尋ねします。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため	2. 親族の介護や手伝いが必要なため
3. 息抜きのため	
4. その他 ( )	









問 23 全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらず形での支援を強化するため、月一定時間までの利用可能枠の中で、親が就労していなくても時間単位などで、0歳6か月～2歳までの子どもを預けられるようにする新たな通園制度「こども誰でも通園制度（仮称）」の創設が検討されています。

この制度を利用したいと思いますか。

1. 利用する必要はない
2. 利用したい → 利用したい時間 月 <input type="text"/> <input type="text"/> 時間（上限 月 10 時間）
※制度の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

問 24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用したいと思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください）。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計 <input type="text"/> <input type="text"/> 日	⇒ 問 24-1 へ
ア. 私用（買物、子ども（きょうだいを含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（きょうだいを含む）や親の通院 等	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
ウ. 不定期の就労	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
エ. その他（ <input type="text"/> ）	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
2. 利用する必要はない		⇒ 問 25 へ

⇒問 24-1 問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にお尋ねします。問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを一時的に保育する事業（例：幼稚園・保育園等）
2. 小規模施設で子どもを預かる事業（例：子育て支援センター「はんだっこ」での一時預かり）
3. 地域住民等が子どもを預かる事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ <input type="text"/> ）



## 宛名のお子さんが5歳以上である方に小学校就学後の 放課後の過ごし方についてお尋ねします。

※宛名のお子さんが5歳未満である方は問30へ

問26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。

※「5. 放課後児童クラブ（学童保育）」、「8. 障がい児通所支援事業（放課後等デイサービス）」  
 の場合には、利用を希望する時間も24時間制で□内に数字でご記入ください。

「放課後児童クラブ（学童保育）」

…保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生等を対象に、遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る事業です。放課後児童クラブの利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

「障がい児通所支援事業（放課後等デイサービス）」

…発達に課題があるなど、療育的な支援が必要な子どもに対し、行う事業です。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 児童センター・児童館	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 放課後児童クラブ（学童保育）	週 <input type="text"/> 日くらい →下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
6. 放課後子ども教室	週 <input type="text"/> 日くらい
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
8. 障がい児通所支援事業（放課後等デイサービス）	週 <input type="text"/> 日くらい →下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
9. その他（公民館、公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい



問 27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。

※「5. 放課後児童クラブ（学童保育）」、「7. 障がい児通所支援事業（放課後等デイサービス）」  
 の場合には、利用を希望する時間も 24 時間制で□内に数字でご記入ください。

※ずいぶん先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週 □ 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 □ 日くらい
3. 習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 □ 日くらい
4. 児童センター・児童館	週 □ 日くらい
5. 放課後児童クラブ（学童保育）	週 □ 日くらい →下校時から □ □ 時まで
6. ファミリー・サポート・センター	週 □ 日くらい
7. 障がい児通所支援事業（放課後等デイサービス）	週 □ 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 □ 日くらい →下校時から □ □ 時まで

問 28 問 26 または問 27 で「5. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にお尋ねします。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、「放課後児童クラブ」の利用希望はありますか。(1)、(2) それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を、24 時間制で□内に数字でご記入ください。

なお、放課後児童クラブの利用には、一定の利用料がかかります。

(1) 土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} → 利用したい時間帯 □ □ 時から □ □ 時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

(2) -1 日曜日・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
3. 利用する必要はない

⇒ (2) -2 問 28 (2) -1 で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。日曜日・祝日の利用を希望する頻度をお答えください。

1. 利用したい時間帯	→	<input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
2. 利用したい頻度	→	ア) 毎週 イ) 隔週 ウ) その他 ( <input type="text"/> )

問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中のみの「放課後児童クラブ」の利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を 24 時間制で□内に数字でご記入ください。  
なお、放課後児童クラブの利用には、一定の利用料がかかります。

1. 低学年（1～3 年生）の間は利用したい	}	→ 利用したい時間帯
2. 高学年（4～6 年生）になっても利用したい		<input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
3. 利用する必要はない		



すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など、お勤め先での仕事と子育ての両立支援制度についてお尋ねします。

問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、「取得していない理由」を口内に数字でご記入ください。

母親 (いずれかに○)	父親 (いずれかに○)
1. 取得した (取得中である) 2. 取得していない ⇨ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">                         取得していない理由                          (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも)                     </div>	1. 取得した (取得中である) 2. 取得していない ⇨ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">                         取得していない理由                          (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも)                     </div>
3. 働いていなかった <div style="text-align: center;">↑</div>	3. 働いていなかった <div style="text-align: center;">↑</div>

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
4. 取得すると仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育園などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇 (産前6週間、産後8週間) を取得できることを知らず、退職した
15. その他 ( )

⇒問 30-1 子どもが原則1歳※1になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等※2 期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存知でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※1 保育園における保育の実施が行われないなど、一定の要件を満たす場合は2歳

※2 法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた</li><li>2. 育児休業給付のみ知っていた</li><li>3. 保険料免除のみ知っていた</li><li>4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった</li></ol> |
|---|

⇒ 該当しない方は、問 31 へ

⇒問 30-2 問 30 で「1. 取得した（取得中である）」と回答した方にお尋ねします。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 育児休業取得後、職場に復帰した</li><li>2. 現在も育児休業中である</li><li>3. 育児休業中に仕事を辞めた</li></ol> |
|---|

(2) 父親

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 育児休業取得後、職場に復帰した</li><li>2. 現在も育児休業中である</li><li>3. 育児休業中に仕事を辞めた</li></ol> |
|---|

⇒問 30-3 問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にお尋ねします。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園にあわせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育園入園を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育園に入園した場合なども「1.」を選択してください。

※年度初めでの入園を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入園できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 年度初めの入園に合わせたタイミングだった</li><li>2. それ以外だった</li></ol> |
|--|

(2) 父親

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 年度初めの入園に合わせたタイミングだった</li><li>2. それ以外だった</li></ol> |
|--|

⇒問 30-4 育児休業からは、「実際」に宛名のお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何か月まで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

(1) 母親

実際の職場復帰の時期	□ 歳 □ □ か月	希望	□ 歳 □ □ か月
------------	------------	----	------------

(2) 父親

実際の職場復帰の時期	□ 歳 □ □ か月	希望	□ 歳 □ □ か月
------------	------------	----	------------

⇒問 30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月まで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

(1) 母親

□ 歳 □ □ か月
------------

(2) 父親

□ 歳 □ □ か月
------------

⇒問 30-6 問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にお尋ねします。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお尋ねします。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

1. 希望する保育園に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため 5. その他 ( )
--

②父親

1. 希望する保育園に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため 5. その他 ( )
--



(2)「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

1. 希望する保育園に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他 ( )

②父親

1. 希望する保育園に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他 ( )

⇒問 30-7 問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にお尋ねします。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したかったが利用しなかった（利用できなかった）

(2) 父親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したかったが利用しなかった（利用できなかった）

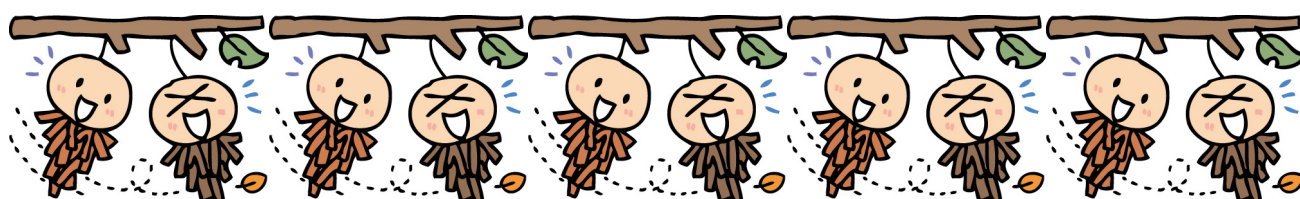






問 33 子育てに関し、日常悩んでいること、また、気になることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病気や発育・発達に関すること
2. 食事や栄養に関すること
3. 育児の方法がよくわからないこと
4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと
5. 子どもとの時間を十分にとれないこと
6. 話し相手や相談相手がいないこと
7. 仕事や自分のやりたいことが十分できないこと
8. 子どもの教育に関すること
9. 友達づきあい（いじめ等を含む）に関すること
10. 登園拒否などの問題について
11. 子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと
12. 配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと
13. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見る目が気になること
14. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
15. 子どもを叱りすぎているような気がする
16. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと
17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込み方法がよくわからないこと
18. その他（ ）
19. 特にない



問 34 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

【1. 幼児教育・保育の環境について】
【2. 地域の子育て支援の環境について】
【3. その他】

**最後に、調査票に回答していただいた方にお尋ねします。**

問 35 調査票にご回答いただいた方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

1. 母親                      2. 父親                      3. その他 (                      )

問 36 この調査票にご回答いただいた方の年齢について、当てはまる年代に○をつけてください。

10代      20代      30代      40代      50代      60代

問 37 この調査票にご回答いただいた方の配偶関係についていずれかに○をつけてください。

1. 配偶者がいる                                      2. 配偶者はいない

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて 令和5年12月 日 ( ) までにご提出ください。

質問の中に出てくる「施設」「サービス」「利用者負担額」の説明です。

【調査回答の注意事項】

○利用者負担額については、おおよその目安であり、世帯収入等により変わる場合やその他実費負担がある場合もありますのでご承知おきください。

○施設・サービスについては、現在、半田市で実施していないものもありますが、ニーズ把握のため利用希望を含め参考にしてください。

施設・サービス名称	説 明	利用者負担額 (円)
地域子育て支援拠点	親子の遊び場の提供、子育て相談、親子遊びの講座等を実施しています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援センター「はんだっこ」</li> <li>・岩滑こども園子育て支援室「びよびよ」</li> <li>・板山ふれあいセンター</li> <li>・青山児童センター花・はな</li> <li>・子育てサポートセンター「たいようの家」</li> <li>・KORO*KORO*はうす</li> </ul>	無 料
幼稚園	学校教育法に定める満3歳から小学校就学前までの幼児を預かり、心身の発達を促し、集団生活に慣れさせることを目的とした幼児教育施設です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立 保育料 無償 ※諸経費別途必要 1,000~2,000円</li> <li>・私立 園により異なります。</li> </ul>
幼稚園の預かり保育	幼稚園でその幼稚園に通う園児を通常の保育時間より延長して保育する事業です。	(1回) 500円
認可保育園	保護者が就労等により、家庭での保育が困難な場合に、児童を親などに代わって預かる施設です。 ※「保育園」として県の認可を受けた施設です。	(月額) <ul style="list-style-type: none"> <li>・0~2歳児 0円~50,100円</li> <li>・3歳児以上 保育料 無償 ※主食費、副食費は別途必要 ※公立・私立同額</li> </ul>
認定こども園	幼稚園と保育園の機能を備え、教育・保育を一体的に行う施設です。 ※「認定こども園」として県の認定を受けた施設です。	(月額) <ul style="list-style-type: none"> <li>・短時間利用児： 幼稚園に準じます。</li> <li>・長時間利用児： 認可保育所に準じます。</li> </ul>
事業所内保育施設	主に従業員の乳幼児を預かる事業所内の託児所で、認可外保育施設に該当します。	施設により異なります。
認可外保育施設	認可保育所と同様な役割を果たしていますが、児童福祉法による認可を受けていない保育施設です。	施設により異なります。

施設・サービス名称	説 明	利用者負担額 (円)
ファミリー・サポート・センター	子育て支援センター「はんだっこ」に併設されています。子育ての手助けがほしい「依頼会員」と、手助けしたい「援助会員」をつなぎます。地域で子育てを助け合う市民同士の会員組織です。	(1時間) 600円 ～800円
児童センター・児童館	児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする施設です。 さらに、地域ボランティアの方々との連携を図り、児童の地域での活動と健全育成を目指します。半田市内に7か所あります。	無 料
小規模保育施設	国が定める最低基準に適合した施設で市の認可を受けた、定員おおむね6～19人の保育施設です。	認可保育所に準じます。
家庭的保育	保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業です。	一定の利用者負担が必要となります。
自治体の認証・認定保育施設	認可保育所ではないが、市が認証・認定した保育施設です。	一定の利用者負担が必要となります。
居宅訪問型保育	ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業です。	一定の利用者負担が必要となります。
発達支援相談「あゆみ」	市内在住18歳までのお子さんとその保護者を対象として、発達で気になること、障がいに関することの相談に応じています。 (子育て相談課内に設置しています。)	無 料
子育てホットライン	子育て中の保護者の悩みを解消するため、電話での子育てに関する相談を行っています。	無 料
子育て応援ハンドブック	子育てに必要な情報を集めた子育て情報誌です。 幼稚園・保育園で配布するほか、親子健康手帳(母子健康手帳)交付時や赤ちゃん訪問時、転入手続時にお渡ししています。	無 料
子育て応援サイト「はんだっこネット」	子育てに必要な情報をインターネット上で公開している子育て情報サイトです。行政や子育て支援団体の情報がアップされています。	無 料
子育て支援室	未就園児とその保護者の交流の場として、また、子育て不安に対応した相談を行っています。半田市内に3か所あります。	無 料
子育てサロン等	公民館等を使って、市民や市民活動団体が運営する未就園の親子の交流の場です。地域の方や子育て仲間とつながることができます。	(1回) 無料～100円 ※実施団体等により異なります。
保育園や幼稚園の園庭等の開放	就園前の子どもとその保護者を対象に、親子の交流や情報交換の場として、保育園・幼稚園を開放しています。	無 料

施設・サービス名称	説 明	利用者負担額 (円)
一時預かり	<p>就学前の子どもを一時的に預かる事業です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一時保育 満1歳以上の子どもを対象に、パートタイム就労や病気、出産、介護、冠婚葬祭のほか、「育児に疲れたとき」、「地域活動に参加するため」などといった場合に、保育園で利用できる一時的な保育です。</li> <li>乳幼児一時預かり 生後6か月からの子どもを子育て支援センター「はんだっこ」内託児室で預かります。理由は問いません。また、利用日数の制限もありません。</li> </ul>	<p>(日額) 800円 ～2,000円</p> <p>(1時間) 700円 ～900円</p>
障がい児通所支援事業	<p>発達に課題があるなど療育的な支援が必要な子どもに対し行う事業です。具体的には、未就学児は「児童発達支援」、就学児は「放課後等デイサービス」という事業により、必要あるいは支援すべき方に対して実施します。</p>	<p>(月額) 0円～37,200円 (この他食費等の負担があります。)</p>
病児・病後児保育	<p>病気にかかっている子どもや病気が回復しつつある生後6か月から小学校3年生までの子どもを、病院や保育施設などで看護師等が一時的に預かる事業です。</p>	<p>◎半田市病児保育施設「げんきの芽」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆市内在住 (8時間まで) 2,000円 (9時間まで) 2,200円 (10時間まで) 2,400円</li> <li>※市内生活保護世帯は無料</li> <li>◆市内在勤者 市内料金に1,000円加算</li> </ul>
短期入所生活援助事業 (ショートステイ) 夜間養護等事業 (トワイライトステイ)	<p>保護者が病気や災害、事故、出産、育児疲れなどにより児童の養育が一時的に困難となった場合、児童養護施設等で一定期間、養育保護を行う事業です。</p>	<p>(日額)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>短期入所生活援助事業 2歳未満 4,325円 2歳以上18歳未満 2,370円</li> <li>※夜間養護等事業についても一定の利用者負担が必要となります。</li> </ul>
放課後子ども教室	<p>放課後に小学校の余裕教室等を活用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちに学習や様々な交流活動を提供する取り組みです。半田市では、小学校1、2年生を対象として、平日週2日、各小学校で開設しています。</p>	<p>(1年間) 5,000円</p>

施設・サービス名称	説 明	利用者負担額 (円)
放課後児童クラブ (学童保育)	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生を対象に、遊びや生活の場を提供し、その健全な育成を図る事業です。	(月額) 1・2年生 16,000円 3・4年生 13,000円 5・6年生 9,000円 ※課税状況及び多子世帯の減額措置があります。